

公益財団法人岩手県文化振興事業団第33回理事会議事録

- 1 開催日時 平成28年11月16日(水) 午後1時25分～
- 2 開催場所 岩手県立博物館 会議室
- 3 出席者 理事総数 9名
出席理事 8名
理事長 菅野 洋樹 理事 及川 伸一
理事 熊谷 常正 理事 齋藤 哲子
理事 佐々木 一成 理事 柴田 和子
理事 中村 英俊 理事 藁谷 収
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 梅木 敬時 監事 久保隆男
- 4 議長 理事長 菅野 洋樹
- 5 決議事項
議案第1号 平成28年度事業計画の変更について
議案第2号 公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金業務規程の一部改正について
- 6 報告事項
報告事項1 職務執行状況の報告について
報告事項2 平成29年度事業実施計画(素案)の概要について
報告事項3 平成28年度県出資等法人運営評価シートについて
- 7 議事の経過の要領及びその結果
定刻、総務部総務課長が開会を宣し、本理事会は定款第35条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、理事長が議長席に着き、次の議事に入った。

(1) 議案第1号 平成28年度事業計画の変更について

議長は議案第1号を上程し、県民会館ホール課長及び埋蔵文化財センター総務課長より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(2) 議案第2号 公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金業務規程の一部改正について

議長は議案第2号を上程し、総務部総務課長より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

《質問・意見等》

【理事】

文化振興基金の規程について、最近は郷土という表現をあまり使われていないと思う。個人所有の古文書なども被害を受けているという報道があるが、個人所有の物に対して対応ができるのか伺いたい。伝統芸能以外への助成についても、今後検討をして頂きたい。

【理事】

助成金の予算について伺いたい。文化振興基金の理念を出していった方が良く思う。

【総務部総務課長】

現在の基金残高は、約9億2千万円であり、その運用益等を使用している。継続事業に2千万円、特別事業に2千万円の予算を組んでいる。その他にエイド寄付金を財源としている。

理念は、県民の文化活動が活発に推進されるよう、文化団体等の活動を奨励・援助することであり、成果の発表や大会参加、備品整備等に助成しており、特別事業として被災団体備品整備や芸術家の派遣、若手芸術家・後継者育成等にも助成している。

【理事長】

岩手の強みのひとつである、伝統芸能に対する援助が少なく、そのような中で伝統芸能を守ってきた経緯がある。東日本大震災の対応は、被災地の伝統芸能団体からはそれなりの評価を頂いている。今回、岩泉町が同じように被害を受けているが、現在の規程では対応できない。国の指定する激甚災害を対象とすることで津波被害と同様に救っていきたいと考え、激甚指定災害により被災した伝統芸能団体の備品整備についても対象にできるよう提案したところである。

理念については、事業案内等で分かりやすくすることで対応したい。伝統芸能以外や個人所有の財産についての助成のありかたについては、財源の規模等を含めて検討

することしたい。郷土芸能という表現については、頂いたご意見を参考にするのでお任せ頂きたい。

〔報告事項〕

(1) 報告事項1 業務執行状況の報告について

業務執行状況について、別紙資料に基づき、理事長並びに業務執行理事3名より報告があり、これを了承した。

《質問・意見等》

【理事】

報道によると台風で被災した資料について保存のための処理が必要とのことだが、博物館に持ち込まれた例はあるか。受入の内規等整備されているか。

【博物館副館長】

遠野市博物館で水損した資料があり、処理には至っていないが、このままでは傷みが進むので冷凍保存している。岩泉についても若干ある。

現在、震災により塩水に浸かった資料の処理をしているが、前例がなく手探りでやっている。そのような資料が数万点あり、他には手をつけられない状況ではあるが、今回、資料等を受入れ、カビなどが発生しないよう冷凍保管している。

受入れについての、内規や要領は整備している。

【理事】

ミュージカル南太平洋は、アンバーホールで実施しているが、共催か。

【県民会館ホール課長】

久慈市民会館は直営であり、プロダクションとのつながりが少ないことから、共催という形で実施の協力をした。

(2) 報告事項2 平成29年事業実施計画（素案）の概要について

平成29年度事業実施計画（素案）の概要について、別紙資料に基づき、報告があり、これを了承した。

《質問・意見等》

【理事】

美術館事業の実行委員会による展示事業は、まとめて実行委員会を作るのか。

【美術館副館長】

展覧会毎に実行委員会を組織する。

【理事】

博物館・美術館事業は、県外の修学旅行生の利用はあるか。

【博物館副館長】

青森は遠足だが、県外からは北海道や青森から来ている。北海道については、修学旅行で活用して頂けるよう、直接資料を送付している。

【美術館副館長】

公園内に複数の文化施設があり、そこを含めての利用が2校程度あった。岩手県の観光課サイドを通じて美術館を修学旅行で利用して頂くようお願いをしている。

(3) 報告事項3 平成28年度県出資等法人運営評価シートについて

平成28年度県出資等法人運営評価シートについて、別紙資料に基づき、総務部総務課長より報告があり、これを了承した。

【監事】

財務にB評価があるがこれはどのような評価か。

【総務部総務課長】

赤字をマイナス評価したと思うが、公益事業では収支相償を求められ、評価方法の違いに戸惑いもある。

以上をもって議事の全部を終了したので、午後3時05分閉会を宣し、解散した。

以上の議事の経過の要領及び結果を明確にするため、理事長及び監事が記名押印する。

平成28年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団 第33回理事会

議 長 印

監 事 印

監 事 印